

2009年度末 サロン2002 理事会 報告

【日 時】2010年3月9日（火）～3月15日（月）※昨年度は2/28～3/10、一昨年度は3/13～3/18に開催

【会 場】ネット空間（メールの交換で議事進行しました）

【出 席】理事：阿部博一、高田敏志、高橋義雄、田中俊也、中塚義実、本多克己

監事：齋藤健司

オブザーバー：運営委員 … 岸卓巨（会計）、熊谷建志（ML）、嶋崎雅規、宮川淑人、室田真人（事業担当）

：規約起草者 … 両角晶仁、川井寿裕

：月例会出席回数の多かった方 … 牛木素吉郎、金子正彦、白井久明、徳田仁

注）理事・監事以外に、運営委員・規約担当者および月例会出席回数の多い方にオブザーバーとして加わっていただいた。

【2009年度総会（090516）における主な決定事項（議事録より）】

◆組織の充実について

- ・2010年度より、年会費は一律3,000円とする。これ以外に寄付金を積極的に受け付ける
- ・2010年度より、希望者に対して、年会費の自動引き落としシステムを導入する。
- ・「新規入会者の初年度会費を無料に！」について議論し、「10月以降の新規入会者について、初年度会費は翌年度末まで有効」とした。

◆月例会の充実&他の組織、他の分野との連携について

- ・サロンの月例会として位置づけるのは、原則としてサロンが主催または共催するもの。他団体の行事への協力は積極的に行うが、基本的には広報支援。他団体との連携の際には、情報の管理、報告書等の扱いなどについてあらかじめ調整しておく
- ・総会と公開シンポジウムを除く月例会は、“ホーム”で毎月定期的に、計10回開催する。理事長と企画担当理事（阿部・高田・高橋）、および事業担当運営委員（嶋崎・宮川・室田）を中心に、早めに準備を進める
- ・本年度の公開シンポジウムは、12月頃を目処に、オリンピックやワールドカップなどの「メガイベント」をめぐる問題を取り上げたい。月例会でも積極的にこの問題を取り上げる
- ・いまのところ、6月12日（金）に月例会（土谷享氏：スポーツとアート）、7月某日（未定）に月例会（2010年南アフリカ大会へ向けてーコンフェデ杯報告）、7月28日（火）にお出かけサロン（川崎競馬体験ツアー）が決まっている。また、5月31日（日）は賀川浩氏が講演される日本サッカー史シンポジウムに協力する。
- ・関西サロンは、平田さん追悼企画と、水都大阪のアートイベントをめぐる、計2回は開催したい

◆規約の見直しについて

- ・第4条（会員）と第5条（会費）を一つにまとめ、「会費を払った者が会員」ということを規約上明確化する。これについては2010年年度の会員募集に間に合うように準備する。
- ・附則に会費が年3,000円であることを明記する。これも2010年度より。

報告Ⅰ．2009年度の組織：規約および役員の確認など

2009年度役員は添付ファイルのとおり。任期は2年なので、2010年度も継続。
2009年度規約は添付のとおり。2009年度はこの規約に沿って活動が進められた。

報告Ⅱ．2009年度事業及び決算（中間報告）

サロン2002規約第3条（事業）の各項目に照らして、概要を把握した。最終的な事業報告及び決算は5月総会にて行うが、現時点での事業報告を以下に、収支決算を添付ファイルにまとめた。

1．月例会

1) 通常の月例会

一部変則的ではあったが（8月例会を7/28に開催）、毎月開催できた。5月は総会のみだが、月例会回数に含んでいる。4月がちょうど月例会150回。本年度終了時点で161回となった。

「メガイベント」を大きな柱に据え、継続の「日本サッカー史をさぐる」とともに月例会および公開シンポジウムを構成する方針であった。「理事長と企画担当理事（阿部・高田・高橋）、および事業担当運営委員（嶋崎・宮川・室田）を中心に」（5月総会議事録）計画的に進めていくこととした。

高橋理事からは「概ね問題はなかったのではないのでしょうか。月例会の概要は以下のHPに掲載しています。<http://www.salon2002.net/monthly/>」とのコメントがあったが、理事長としては「月例会の企画（発案→報告者&期日決定→アナウンス）において、企画担当理事のリーダーシップがあまり発揮されなかったのではないかと感じています。4月についても、そろそろアナウンスすべき時期なのですが…。昨年度、結果的にはうまく回ったと思いますが、1年間の大まかな枠組みを共有した上で、計画的に行うことが大切です」（中塚理事長）と指摘した。

昨年度、いわゆる「出張サロン」が多すぎて在京会員には参加しにくかったとの反省を受け、年10回は都内で開催することを目標とした。川崎競馬も含め、おおむね目標は達成できた。逆に、地方へ出かけることができなかった。

2007年度に2回、2006年度に1回開催されただけの「関西サロン」が、関西在住の本多理事と宮川運営委員のご尽力で徐々に再開した。4月に故平田生雄氏の追悼会、11月26日にはKR&AC（神戸外人倶楽部）で、故大谷四郎氏の功績を振り返る会を開催した。「報告のサイトへの掲載が滞っていますが、2008年の開催と同じくサイトに掲載していきたいと考えています。また、今年も開催について運営委員の宮川さんなどと検討しています」（本多理事）。今後の定期的開催が期待される。

2) 出張サロン

前述のとおり、いわゆる「出張サロン」は本年度は開催していない（3月に大分で開催予定であったが、夏に持ち越し）。2008年度、外へ出過ぎたのでセーブした形となっている。

予算は措置されているので、いわゆる「出張サロン」を今後も年1度は開催したい。

なお開催地を含めた呼称として、「出張サロン in●●」は用いず、「サロン in●●」と表記する。

3) 公開シンポジウム

「2019ラグビー・ワールドカップを語ろう！」を3月6日に開催した。ちょうどJリーグ開幕と重なり、参加者数は伸びなかった（30名）が、ラグビーを取り上げた初のシンポジウムということで興味深い内容となり、ラグビー関係の参加者も多く、新たなネットワークを築くことができた。報告書は2010年度予算で作成、2010年度名簿と同時に、5月の連休明けには郵送すべく準備を進めている。

2月6日に開かれた、熊野三山協議会主催のシンポジウム「日本サッカーの始祖、熊野の中村覚之助」に、サロン 2002 は共催団体として関わった。共催なので月例会の回数に入れている。報告書は2009年度中に発行予定。

2008年度の公開シンポジウム報告書「地域からみたJリーグ百年構想」は、2009年度名簿と同時に郵送することができた。次年度以降もそのようにしていきたい。

2. プロジェクト

1) 日本サッカー史シンポジウム

那智勝浦町（2009年3月／協力）、都内（2010年2月／共催）で行われた、中村覚之助を取り上げた二つのシンポジウムに、サロン 2002 も参画した。現在、この二つのシンポジウムの内容を中心に報告書を作成中である（前述のとおり）。理事会メンバーを中心に取り組んでいる。

2) 公開シンポジウム

前述のとおり。補助金額は現時点で未確定である。

3) その他

サロン 2002 の公認プロジェクトではないが、月例会でも取り上げた「スキン・プロジェクト」は、今後も何らかの形で見守っていききたい。公認プロジェクトではないので補助金は発生しない。

3. サロンと目的を同じくする団体の事業への参加

2月のシンポジウムは熊野三山協議会主催、サロン 2002 は「筑波大学蹴球部同窓会茗友サッカークラブ」「日本サッカー史研究会」とともに共催団体として参画した。

3月の公開シンポジウムは、サロン 2002 が主催する事業であるが、今回も「ビバ！サッカー研究会」「NPO 法人横浜スポーツコミュニケーションズ」の後援をいただいた。これらの団体とはさまざまな場面で協力関係を築いている。

関西では、水都大阪におけるスキンプロジェクトへの広報支援活動を行った。サロンとしての団体参加ではないが、広報呼びかけによって8校の高校がスキンプロジェクトに参加する成果を収めた。

参考：KOSUGEレポート

http://homepage.mac.com/kosuge1_16/top%20page/suito/kosugereport.html

4. ホームページの運営

2008年度中にホームページがリニューアルされ、本多克己理事をホームページ管理、田中俊也理事をホームページ監査として運営した。

監査担当の田中理事から「本多さんのHP運営、特に過不足なくOKです。外部の人もシンポや月例会に参加しやすくなると思います。私はお誘いの際はYahooで「サロン 2002」のキーワードを検索をお願いしています」（田中理事）とのコメントがあった。

ただ理事長としては、「HPの更新（頻度と速度）や正確性に関して、改善すべき部分が多々あると感じています」（中塚理事長）と問題提起した。

5. その他

- ・サロン通信は入会申請された全ての方に送信しており、現在146名いる。一方メーリングリストは、会費を払った方みの登録となるが、125名しかいない。会費未納者（現在21名）はいつも問題になるが、今年も課題として残った。現在、会計担当が督促中。
- ・会計担当を年度の途中で交代したため通帳の管理などで混乱した。2009（平成21）年度に入って

から 2008（平成 20）年度シンポジウム関連の清算を行わなければならなかったこと、これまで作成していた現金出納簿における残高と実際の残高が異なったことなど慣れないことが多く戸惑った。今後は、小まめに入出金の確認をしながら、総会での決定をもとに小回りの利く会計を目指していきたい（会計担当運営委員：岸氏より）。

- ・現金出納簿における残高と実際の残高が異なっていることについては、2008（平成 20）年度決算の時点で判明し、これまで原因を調査してきたが、現段階では究明できていない。恐らく、決算上では処理されているが、現金ベースで正確に処理されていないと思われる（元会計：川井氏より）。

審議 I．規約の一部見直しについて

5月の総会で提起された次の課題を解決すべく、理事会で議論した。

- ・第4条（会員）と第5条（会費）を一つにまとめ、「会費を払った者が会員」ということを規約上明確化する。これについては2010年年度の会員募集に間に合うように準備する。
- ・附則に会費が年3,000円であることを明記する。これも2010年度より。

理事会で議論した結果、次に挙げる「改正理由」に基づき、見直すこととした。「参考情報」も踏まえ、添付ファイルを総会に付議する。

総会での議決については別便メールにて行う。会員の過半数の出席が必要で、かつ出席会員の3分の2の数で決する。

【規約の改正資料（220313）】より一部引用

<改正理由>

- (1) 現行規約では、第4条で会員登録を行った者が会員であることを、第5条で会員は会費を納入しなければならないことをそれぞれ規定しているが、実態としては、会員登録を行っても会費を納入しない者が存在する。このため、会費の納入も会員となるための要件であることを明定するものである。
- (2) 年会費の金額について、現行規約では、第5条で別に定めることとし、これを附則で定めているが、規約の改正に拠らず、総会の議決によることとするものである。

<参考情報>

1. 第4条と第5条を統合する方法もありますが、会費は会を支える重要な事項ですので、単独の条文として残した方が良く考えます。また、副次的な理由として、統合した場合は、「第5条 削除」と残すか、第6条以降の条を繰り上げる措置をとらなければなりません。後々、解りづらいことがあると思います。
2. 規約は、サロンの憲法ですから、本来は、毎年改正されるようなものではないと思います。今回の改正は、年会費を規約の埒外に置き、規約改正を必要最小限にすることを目的としています。
なお、第12条（総会の議決事項）では、現行では第1項第3号の「本規約の改廃」に該当しますが、この改正により同項第4号の「その他サロンに関する重要事項」になります。このため、第12条（総会の議決）では第4項の規定により2/3以上の議決が、過半数での議決になります。
3. 2010年度から年会費の金額を3,000円とすることについては、2009年5月総会で議決されていますので、今回の規約改正により、総会が定めたこと（追認したこと）となります。
また、これまで、「1口2,000円で2口以上」の会費納入が可能でしたが、今後も実質的にこれを可能とし、年会費を超えて納入された部分については「寄付金」として取り扱います。これにより、「年会費総額÷年会費＝会員数」となります。

審議Ⅱ．2010年度会員募集（更新）手続きについて

2010年度の会員募集（更新）は、例年どおり、以下の手続きで行う。入会はいつでも可能だが、3月24日（水）～4月25日（日）を手続き期間とし、2009年度会員はこの期間に必ず名簿原稿を更新（更新しない場合はその旨連絡）、新規会員もできるだけこの期間に申し込んでもらえるよう促す。

手続きと担当者は次のとおり。

1. 手続きについて

従来どおり、「2010年度会員名簿の原稿を送る」と「2010年度会費を納める」ことが入会・更新には必須。退会意思表示をしない限り、会員は継続であるが、会費納入がサロン会員の義務であると同時に、名簿の更新は誰もができる最低限の「GIVE」であるとの考えを確認した。

■名簿原稿項目は次の通り。（※印は必須）。

※1) 氏名（フリガナ）

2) ホームページに掲載できる自己紹介（掲載しない場合は「掲載しない」と明記する）

3) 現在の職業（記入しなくてもよい）

※4) サッカー・スポーツとの関わり

※5) 郵便番号と住所（自宅 or 勤務先 or その他。複数登録も可）

6) 電話番号・FAX 番号（自宅 or 勤務先 or その他。複数登録も可）

※7) 電子メールアドレス（自宅 or 勤務先 or その他。複数登録も可）

8) 現在関心を持っているテーマ

※9) 自己PRなど

10) 検索用

①主に関わるスポーツ種目・文化活動（例：サッカー）

②関わり方（例：少年サッカー指導）

③主たる活動地域（例：東京都墨田区）

■年会費は、2010年度より3,000円となる。

もちろん、3,000円を超える入金を妨げるものではない。3,000円を超えて納入された部分については、寄付金として扱う。

2. 担当者について

本年度は、岸卓巨運営委員が取りまとめる。

審議Ⅲ．組織としてのサロン 2002 の今後の方向性について

過去に何度か話をしたことがあるが、「サロン 2002 の法人化」について、改めて検討を開始したい。

しっかりした事務局を設けること、そのための運転資金を確保し、事務局員の仕事に対して応分の支払いができるよう形に持っていく必要があるのではないかと。

また、totoをはじめとするさまざまな助成を受ける際にも、法人格の取得は不可欠である。

上記のような問題提起で意見を募ったところ、理事会ではオブザーバーの川井氏から次の意見があった。総会でも意見を求めたい。

（川井）現在のサロンのコア層は色々と活躍されている方が多く、これらの方々がサロンの業務に集中することは現実的に困難と思います。また、事務職員を雇用するとなると最低でも2～300万円は必要になってくるのではないのでしょうか。引き続き、検討すべき事項とは思いますが、現実的な視点での議論が必要と思います。

審議Ⅳ．今後の日程

理事会に引き続き、ネット上で総会を開く。全会員に「2009年度末 サロン2002理事会報告」を送信し、一定期間を設けて、意見をいただく形で進行する。特に問題なければ、理事会報告がそのまま総会報告となる。

ただし、「規約の改正」につちえは別途メールにて採決する。

「2010年度会員募集（更新）手続き」は、総会を経た後に開始したい。

整理すると、今後の日程は次のとおり。

- ・2009年度末理事会期間 … 3月9日（火）～3月15日（月）
（2008年度は2/28～3/11、2007年度は3/13～3/18、2006年度は3/15～3/20、2005年度は3/10～3/18）
- ・2009年度末総会期間 … 3月16日（火）～23日（火）
（2008年度は3/12～3/22、2007年度は3/19～3/25、2006年度は3/21～3/28）
- ・2010年度会員募集期間 … 3月24日（水）～4月25日（日）
（2009年度は3/23～4/21、2008年度は3/26～4/21、2007年度は3/21～4/21）
- ・2010年度名簿および2009年度公開シンポジウム報告書発送 … 5月連休後（総会前）
（2008年度公開シンポジウム報告書は、2009年度名簿とともに、会員に発送）
- ・2010年度総会 … 5月8日（土）前後 or 5月22日（土）前後
（2009年度は5/16（土）、2008年度は5/10（土）、2007年度は5/20（日）、2006年度も5/20日（土））

審議Ⅴ．その他

特になし

以上